

## G 地域の学校との連携校事業（コアSSH（岡崎高校）連携事業）

### 1 尾張・名古屋・知多地区連携SSH文化講演会 「生物学のおもしろさー進化と多様性」

#### (1) 仮説

卓越した業績を残した科学者による講演会を実施して生徒の意識・意欲の向上に役立てることができる。また、近隣の中学の代表者や地域の高等学校の希望教員に参加してもらうことで、一宮高校SSHへの理解を深めることができる。

#### (2) 方法

##### ア 地域(または県下)の理科教育における位置づけととねらい

昨年の重点枠事業SSH生物講習会の講演を聞いた複数の教員から、SSH文化講演会で生徒に長谷川先生の講演を聞かせたいとの申し出があった。長谷川先生に講演を依頼し、内諾を得た（平成26年1月）。

##### イ 連携先・対象と規模

連携先：総合研究大学院大学副学長 長谷川真理子先生

対象と規模：本校	生徒	1083名	教員	50名
中学校	生徒	40名	教員	16名
連携校	教員	6名	保護者	73名



講演される長谷川先生

##### ウ 内容

#### (7) 講演概要

生物学には3つの軸（生物の種類、分野、生物のレベル）があり、学習していることが3つ軸でどの位置にあるかが分かると単なる覚えるだけのつまらない生物学がおもしろくなってくる。さらに生物の多様性を生んだ進化（生物の歴史）を知り、学習したことがつながるとさらに生物学はおもしろくなる。

#### (4) 事業の取組

実施日時 9月26日(金)

13:00~16:30

実施場所 一宮市民会館大ホール

#### (3) 検証

##### ア 生徒の事後アンケートから

高校生物を選択していない生徒は講演の内容をやや難しく感ているようだ。

##### イ 生徒の感想から

- ・サルと人間はほとんど変わらないと知って驚いた。奥深いなと思った。
- ・生物は暗記科目ではないということが分かった。
- ・生物への興味を持つことができた。奥深いと知っていたが、改めてその難しさを知った。

##### ウ 今後の事業に向けて

講演前には、講師の研究分野や著作について簡単な事前準備をしたが、講演内容について事前に情報を得て、関連分野の内容に踏み込んだ事前準備しておけばより効果の高い取組になったと考えられる。



また、別室で講演会後に行われた懇談会では、生物に興味を持つ生徒が集まって活発な意見交換ができ、有意義な時間を過ごすことができた。

